

STAGE+を楽しむ(184)(HP 掲載)

—グラナダ音楽祭 2024—

1. 始めに

前報(183)に引き続き、STAGE+のグラナダ音楽祭 2024 の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回はグラナダ音楽祭 2024 の演奏を選びました。

タルモ・ペルトコスキが 2024 年のグラナダ音楽祭に出演

エルザ・ドライシヒを迎えて

収録日: 2024 年 7 月 14 日

タルモ・ペルトコスキとトゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団が、2024 年のグラナダ・フェスティバルにアントン・ブルックナーとリヒャルト・シュトラウスの最後の傑作をフィーチャーしたプログラムで登場です。プログラムはワーグナーの

《ニュルンベルクのマイスタージンガー》第 1 幕への前奏曲で開始。ソプラノのエルザ・ドライシヒを迎えての R.シュトラウス《4 つの最後の歌》、メインとなるブルックナーの交響曲第 9 番が続きます。後期ロマンを代表する作曲家たちがすべてを注いで書き上げた名曲をお楽しみください。

ソリスト:

エルザ・ドライシヒ (ソプラノ)

演奏:

トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団

指揮:

タルモ・ペルトコスキ

曲目:

リヒャルト・ワーグナー

《ニュルンベルクのマイスタージンガー》より第 1 幕への前奏曲

リヒャルト・シュトラウス 4 つの最後の歌

エルザ・ドライシヒ(ソプラノ)

アントン・ブルックナー 交響曲第 9 番ニ短調 WAB 109 (ノーヴァク校訂版)



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。

グラナダ音楽祭という音楽祭は初めて知りましたが、映像で見ると由緒あるホールのようなようです。

指揮のペルトコスキは STAGE+を楽しむ(163)で聴いていますし、トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団の演奏はソヒエフ指揮の演奏会で聴いています。

ワーグナーのニュルンベルクのマイスタージンガーの第1幕前奏曲はお馴染みの曲です。

リヒャルト・シュトラウスの4つの最後の歌は、ソプラノのドライシヒが知的にしみじみと歌い上げます。

メインプログラムのブルックナーの交響曲第9番は、ブルックナーらしい重厚な出だしから、最後の静かな終章まで、壮大なスケジュール感で展開されます。





4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用した結果、しみじみとした歌曲もオーケストラの大曲も破綻なく聴くことができました。

以上